

平成22年11月11日

各位

会社名 株式会社名村造船所
代表者名 代表取締役会長兼社長
名村 建彦
(コード番号 7014 大証 第1部)
問合せ先 代表取締役副社長経營業務本部統轄
名村 建介
(TEL 06-6543-3561)

平成23年3月期第2四半期累計期間における特別損失の計上および
業績予想と実績との差異ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年3月期第2四半期累計期間(平成22年4月1日~平成22年9月30日)におきまして特別損失を計上し、また業績予想につきまして、平成22年5月13日に公表いたしました業績予想と実績の間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

あわせて最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月13日に公表いたしました平成23年3月期通期(平成22年4月1日~平成23年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異について

(1) 平成23年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績数値との差異

(平成22年4月1日~平成22年9月30日)

(以降の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	72,000	6,000	6,000	3,300	68.42
今回実績(B)	66,657	2,397	2,199	1,834	38.02
増減額(B)-(A)	5,343	3,603	3,801	5,134	-
増減率(%)	7.4	60.1	63.3	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	61,965	3,786	3,796	4,146	85.97

(2) 平成23年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値と実績数値との差異

(平成22年4月1日~平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	62,000	5,400	5,500	3,200	66.31
今回実績(B)	55,282	5,188	5,217	2,901	60.10
増減額(B)-(A)	6,718	212	283	299	-
増減率(%)	10.8	3.9	5.2	9.3	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	51,188	2,535	2,470	3,005	62.26

2. 業績予想の修正について

(1) 平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	144,000	12,000	12,000	6,600	136.85
今回発表予想(B)	137,000	7,600	6,700	2,500	51.82
増減額(B)-(A)	7,000	4,400	5,300	4,100	-
増減率(%)	4.9	36.7	44.2	62.1	-
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	131,604	8,813	8,359	6,281	130.23

(2) 平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	125,000	11,000	11,200	6,600	136.76
今回発表予想(B)	117,000	9,700	9,400	5,700	118.07
増減額(B)-(A)	8,000	1,300	1,800	900	-
増減率(%)	6.4	11.8	16.1	13.6	-
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	111,468	7,934	7,800	6,708	139.00

3. 特別損失の計上について

平成22年10月20日に公表いたしましたとおり、連結子会社である函館どつく株式会社が建造している79百重量トン型セメント運搬船の請負契約における計画満載喫水では保証載貨重量トンを確保できないことが判明したため、その対応に要する費用として、連結損益計算書において特別損失にセメント船対策費2,094百万円を計上いたしました。

4. 差異および修正の理由

平成23年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異および平成23年3月期通期業績予想修正の主たる理由は、連結財務諸表提出会社(当社)および当社連結子会社(函館どつく株式会社、オリメック株式会社)のそれぞれの実績が第2四半期累計期間業績予想に及ばなかったことならびに通期業績予想の下方修正を行うべき事由が生じたことであります。

当社におきましては、後述の如く函館どつく株式会社が当社経由で受注したセメント運搬船の契約船価を減額したこと、本年7月以降は1米ドル当たり90円を大きく割り込む円高が進展していることおよび本日開催の当社取締役会において当社収益予想に用いる円ドル換算レートを1米ドル当たり90円としていたものを80円に変更すると決定したことなどに伴いまして、第2四半期累計期間業績予想と実績の間に差異が生じるとともに、通期個別業績予想の見直しを行うものであります。

当社連結子会社におきましては、函館どつく株式会社は同社室蘭製作所において先進的な二重反転プロペラ付電気推進式79百重量トン型セメント運搬船(スーパーエコシップ)4隻を当社経由で受注し建造に取り組んでおりますが、保証載貨重量トンを確保するためには満載喫水を当初計画値よりも深める必要があると判明したため、発注者殿と協議いたしました結果、1隻目・2隻目について船価を大幅に減額することといたしました。また、3隻目・4隻目につきましては未だ発注者殿との協議を継続中ではありますが、相応の対策費用を計上することといたしました。これにより、第2四半期連結累計期間において経常利益5,000百万円の減少、四半期純利益7,100百万円の減少を来いたしました。

また、オリメック株式会社は中国を中心とした新興国市場での販売拡大および現地生産の増強によるコスト圧縮を図ってグローバル戦略をさらに加速・拡大するため、海外生産拠点の強化と国内生産体制の再編のための合理化費用を第2四半期連結累計期間において計上することといたしました。

以上の結果として第2四半期連結累計期間業績予想と実績の間に差異が生じるとともに、通期連結業績予想を下方修正するものであります。

上記予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、経済情勢・為替相場変動によるリスク等不確定要因により、実際の業績は記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上